



迎春



謹んで新春のおよろこびを申し上げます

漁港のお正月

今月の主な行事

- 1日 ・元旦
- 4日 ・消防始式(8:00~門小G外) ・御用始
- 6日 ・血圧測定(9:00~11:30役場宿直室)
- 7日 ・3ヶ月児健康相談(9:30~10:00役場宿直室 S60.10月生)
- 8日 ・食品加工教室(9:30~庵川農産加工室) ・地婦協定例会(19:30~中公)
- 9日 ・成人病学級(9:30~中公)
- 13日 ・S61年度保育所入所申請受付開始
- 14日 ・健康相談(13:30~15:00中公 田中病院医師)
- 15日 ・成人の日 成人式(9:00~中公)
- 18日 ・婦人健康づくり教室(10:00~中公)
- 20日 ・妊婦教室(13:30~15:00 役場宿直室)
- 22日 ・麻疹(受付14:00~14:30 白石病院 生後12ヶ月~72ヶ月)
- ・婦人バレーボール教室(10:00~中公) 毎週水曜日
- 23日 ・麻疹(受付14:00~14:30 寺尾医院 生後12ヶ月~72ヶ月)
- ・婦人バレーボール教室(10:00~中公) 毎週木曜日
- 25日 ・婦人健康づくり教室(10:00~中公)
- 26日 ・婦連協大会(9:30開会 五十鈴小体育館)
- 27日 ・糖尿病学級(9:30~12:00中公)
- 28日 ・農業委員会総会(9:00~15:00役場三階会議室)



60年12月1日現在人口

世帯数	男	女	計
5,475	9,001	9,950	18,951
(5,459)	(8,998)	(9,936)	(18,934)

()内は前月

めざましい技術革新、教育、文化、医療、福祉等その他経済、社会全般にわたって大きな転換期を迎えようとしています。

このような経済社会の変動に対応し、国においては新しく第四次全国総合開発計画を策定することとし、又県においても第四次宮崎県総合長期計画の策定を急いでおり特に二十一世紀を展望する県北地域及び門川町は高速交通体系の整備を中心とする新しい交通の時代、高度情報化時代及び技術革新の時代などかつてない大きな転換期を迎えようとしています。

このような経済社会の展望の中にあつてこれからの町勢発展をはからなければならぬ門川町は基本的な方向としてこれまでの農林漁業及び商工業等地場産業の振興並びにベッドタウンとしての町づくりのみでは今後の町勢の大きな発展を期待することは困難で大きく転換する経済社会の変動に対応するため、この際発想を転換し、これまでの施策に併せ、改めて二十一世紀を目指す町の将来を展望し延岡市及び日向市と広域的な視点にたち、県北地域の拠点都市の形成を目指し、その中心として門川町が自ら伸びる新しい町勢発展の長期的な青写真をつくり、年次計画的に実行していくことが町勢発展の大きな課題であると存じます。

そのため、昭和六十一年度は、これまで町政推進の基本をなしてまいりました門川町長期総合計画

の見直しをし、二十一世紀を目指す新しい町勢発展の門川町長期総合計画を策定しなければならぬと存じます。

2、町民運動の推進

申すまでもなく町政の主権者は町民であり、町民が町政の主役であります。町政は誰のものでもなく門川町民一九、〇〇〇人みんなのものであり、町民のための町政を行うことが町政の基本であります。これからの経済社会は特に創意工夫、自助努力の精神が強く求められています。

今後はそれぞれの分野において現状を分析し、課題を正しくとらえ、問題点を克服し、切り拓いていく「意欲と努力」が最も大事で、このことが町勢の発展につながる根本であると存じます。

一九、〇〇〇人の門川町民のみんなが、我々は門川町民であるということを強く自覚し、門川町を愛する郷土愛に燃え、連帯感を高め、門川町を開発発展させなければならない「意欲と連帯」を基調とし、豊かで、住みよい、生きがいのある門川町をつくることを目的として、昨年町制施行五十周年を記念して町民の各階層を代表する方々から明るく、住みよい、



地域づくり町民運動の実践項目等をつくっていただきましたが、今後は、この町民運動を地道に推進し、町と町民とが一体となつて二十一世紀を目指す発展する住みよい門川町づくりに努力していかなければならないと存じます。

◎むすび

町政は町民と共にあり、喜びも悲しみも分かちあい、共に前進するものでなければなりません。町民皆さんの町政に対する一層のご理解とご協力をお願いすると共に、今年も皆さんにとりまして最良の年となりますようお祈り申し上げ年頭のごあいさついたします。

謹んで新年のおよろこびを申し上げます

消防始式へのご案内



県下のトップを切って昭和61年新春の初頭を飾る、本町消防始式を下記のとおり挙行政致しますので、多くの皆様の御声援を戴きますよう御願ひ致しますと同時に謹んで御案内申し上げます。

記

1. 日時 昭和61年1月4日
午前8時開式
2. 場所 門川小学校グラウンド
第2会場 五十鈴川河川敷
(一斉放水、10時20分頃)

※但し雨天の場合は中央公民館で式典のみ挙行政致します。尚時間は午前9時開式となります。



明けまして
おめでとうございます

新しい年、昭和六十一年を迎えました。
年頭に当り心を新たに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昭和六十一年 元旦 門川町長 金丸 親治

これまでの四年間をふり返って

- ご案内の通り昭和五十七年四月町民皆様多数のご支援をいただき第九代町長として町政を担当することとなり、早や任期の四年を終わろうとしています。
- 私は町長就任以来常に町勢の発展と町民の福祉向上をはかることが町長に課せられた唯一最大の使命と責任であることを強く自覚し、町政の推進に当たりましては大きく変わる経済社会に細心の注意を配り、おくれをとることのないよう先手を打って対処していくように心掛け、日々心を新たに初心を忘れず、今日まで町勢発展への努力と研鑽を怠つてはならないと肝に銘じ、誠実と公正をモットーに努力をしてまいったところでございます。
- 町政を推進する基本政策としては、
- 1、住民本位の町政
 - 2、財政健全化の推進
 - 3、町勢の開発発展
 - 4、日曜朝市、産業祭りの実施
 - 5、門川町同和問題啓発推進協議会の発足
 - 6、消防の広域化による常備消防化の実施
 - 7、合成洗剤追放等の門川町生活環境保全条例の施行(昭和57年

- 4月1日)
- 8、農業振興のための各般の事業
(農地の規模拡大、水田再編成対策、基盤整備、環境及び施設整備、畜産、果樹、そ
 - 9、林業振興のための各般の事業
(新植、間伐促進策管理対策、林道等基盤整備、環境及び施設整備、しいたけ対策、西
 - 10、門川地域総合施業団地の設定
(その他の対策)
 - 11、広域基幹林道事業
 - 12、水産業振興のための各般の事業
(門川、庵川両漁港)
 - 13、漁港修築、魚礁設置、流通施設その他施設及び整備、栽培漁業の推進、各種融資に対する利子補給、その他の事業)
 - 14、漁業集落環境整備事業
 - 15、商工業振興のための事業
(商工会運営補助、地域経済振興対策協議会の設置、観光

- 16、開発対策、中小企業小口融資、その他の対策)
- 17、企業誘致
- 18、五十鈴小学校の建設
- 19、西門川小・中学校ブルーの建設
- 20、道路、河川、砂防等の事業、
(道路の新設・改良、交通安全、側溝・排水路、河川、砂防、海岸、急傾斜崩壊防止事業、その他)
- 21、都市計画事業
(区画整理、街路、都市下水路、公園整備事業、その他)
- 22、海浜総合運動公園整備事業
- 23、上水道第三次拡張事業
- 24、各種の文化、スポーツ対策事業
- 25、各種の福祉対策事業
- 26、各種の保健対策事業
- 27、各種の環境対策事業
- 28、公園墓地造成事業
- 29、記念作文、論文募集
- 30、健康マラソン大会
- 31、五十周年記念式典
- 32、植樹祭
- 33、NHKのど自慢大会
- 34、花火大会(商工会主催)
- 35、町民体育大会
- 36、文化講演会
- 37、産業まつり
- 38、総合文化祭

◎町制施行五十周年記念行事等

昭和六十一年は門川町にとって極めて重大な年であります。即ちこれからの二十一世紀を目指し、大きく発展していかなければならないスタートの年であります。これからの町勢の発展は一層の行政努力と町民の町政に対する自覚と責任とが重要であり、両者が車の両輪となつてお互いに理解と協力し、一体となつて努力していくことがその基本であると存じます。

このような観点から昭和六十一年度においては現在の門川町長期総合計画の見直しを行うと共に昨年町制施行五十周年記念事業として展開いたしました「意欲と連帯」を基調とする町民運動を推進していかねばならないと存じます。

1、門川町新長期総合計画の策定

二十一世紀を迎えるこれからの日本は高速交通化、高度情報化、

◎昭和六十一年を迎えて

交通安全
シートベルトと
思いやり

《運動の重点》
① ことごと高齢者の交通事故防止
② 飲酒、居眠り、速度違反等無謀運転の追放
③ シートベルト・ヘルメット着用
の推進
④ 若者の交通事故特に二輪車事故の防止

《目的》
年末・年始は飲酒の機会が多く、また交通量の増加等により交通事故の多発が予想されるので、「思いやり交通」の実践とシートベルト・ヘルメット着用を習慣づけること

年末・年始の交通安全運動

12月20日(金)～
1月10日(金)



道路交通法の改正要点

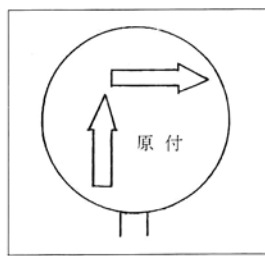
(61.1.1施行分)

原付の右折方法の特例

◎ 標識により指定された道路及び多通行帯道路(三車線以上の道路)で交通整理の行われている交差点では、二段階の右折方法になります。

二段階の右折方法による場合

標識の指定 ...指定 多通行帯道路 ...法定



※罰則 反則金2,000円 行政処分点数 1点

◎ 多通行帯道路であっても次の標識のある場所では二段階右折ではなく通常の右折方法をします。



統一行事

行事名	期 間	内 容	備 考
街頭キャンペーンの日	12月20日(金)	シートベルトの正しい着用方法等についての街頭キャンペーンを行う。	交通安全運動初日 交通事故0(自動車安全)の日
二輪車安全運転推進の日	12月22日(日)	二輪車販売店、ドライバークラブ、ライダークラブ等の組織・団体に働きかけ、無謀運転追放キャンペーン等を展開する。	二輪車安全の日
交通安全家族会議の日	1月5日(日)	家庭において、家族みんなと「交通安全は家庭から」をテーマに話し合う。	老人安全の日の前日
街頭指導強化の日	1月8日(水)～10日(金)	シートベルト・ヘルメット着用及び通学(園)時の街頭指導を行う。	3学期始業日 交通事故0(歩行者安全)の日

一月の朝市

一月十二日
(第二日曜日)

午前八時より

門川町役場駐車場

『日曜朝市』
の開催について

◎開催日の変更のお知らせ

かどがわ日曜朝市の開催につきましては、関係各位のご協力を戴きまして、地場産品のPR及び愛用を促進するとともに、生産販路拡大、地場産業への振興を図っているところであります。

つきましては、一月の朝市(初商)は、昭和六十年年度門川町商店会連合会大売り出し「現金つかみどり大会」と同時開催しますので、開催日が変更されます。



あけまして
おめでとうございます

新春を迎え町民の皆様に 謹んでお喜びを申し上げます。

門川町議会議長 米良守弘

日頃から町議会に對しましては皆様方のご協力とご理解をいただき感謝いたしております。さて過ぎ去った昨年を振り返りますと昨年は町制五十周年を言う記念すべき年でありました。昭和十年二月に門川町制が施行されました五十周年の歳月が流れましたが、この間の本町の発展をみますと、すばらしいの一言につきまします。戦前の支那事変から大東亜戦争へと思ひ出すことすら嫌なあの悪夢の時代から、戦後の経済も文化も破壊され、生活すら困窮した時代、昭和二十年代は復興と食糧増産の時代でありました。昭和三十年代になり漸く食糧事情も緩和し、我が国の経済も工業国とし発展をはじめ、人口の都市流出がはじまり本町におきましても中学生の集団就職や町外転出が多かった時代でございます。昭和四十年代になり本格的な高度経済成長へと発展し本町でも多くの事業が導入されました。昭和四十八年のオイルショックを境に徐々に経済の低成長がはじまり、昭和五十年代は縮小行革の時代となり今日の厳しい行革時代となっております。この間の本町の移り変わりを静かに振り返ってみますと、国道十号線の開通にはじまり、日向病院、門川農業高校の誘致、日向延岡

新産業都市指定、中須、栄町地区区画整理、門川漁港、庵川漁港、港湾整備、町役場庁舎建設、平城住宅団地造成、チムニット、宮崎ジュータン株式会社等企業誘致、し尿処理施設の建設、清掃工場センター建設、加草、庵川地区区画整理、加草海浜公園建設、五十鈴小学校の新設、等々主な事業を数えましても枚挙にいとまがございます。この様に本町が飛躍的な発展をみしましたのも優れた諸先輩のご指導と町民一体となつてのこの努力の賜であり、改めて感謝と敬意をいたすところでございます。この様な意義深い歳の記念行事として花火大会、NHKのど自慢大会、文化講演会、町民体育大会、ふるさとを語る会、日曜朝市、等盛り沢山の行事が行われましたがわたしたちは、この記念すべき行事を礎として今後二十一世紀へ向けての第一歩を踏み出す極めて重大な年を迎え、町議会、町執行部が共にその権能を充分理解しながら、町勢発展の為懸命の努力をいたさねばならないと新年に当り決意を新たにいたすところでございます。

年頭に当り皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈りし新年のご挨拶といたします。

展示会場		展 示 日							
門川町 中央公民館	1月 18日(土) 19日(日)	東郷町 中央公民館	1月 22日(水) 23日(木)	北郷村 林業センター	1月 26日(日) 27日(月)	日の影町 中央公民館	1月 30日(木) 31日(金) 2月 1日(土) 2日(日)	延岡総合 文化センター	2月 5日(水) 6日(木) 7日(金)

1. 各会場午前九時〜午後五時開館
2. 入場無料

美術展 ごあんない

県北移動美術展が門川町で開催されます

このたび、宮崎県北部地域における文化の育成、発展を図ることを目的として県北の各市町村文化協会(延岡市、日向市、東臼杵郡、西臼杵郡)で宮崎県北文化協会が設立されました。その設立を記念し、県北各市町村の文化交流と、文化水準の向上を図ることを目的として県北移動美術展が左記日程により開催されます。

展示作品は、書、絵画、彫刻、写真、陶芸、手芸のうち県市町村美術展(文化祭)に出品された優秀作品が一堂に展示公開されます。本町からも書、絵画、写真、陶芸部門より八点が県北の優秀作品と肩を並べ展示されることになっております。

新春のすがすがしい気持ちで、ぜひ県北の優秀作品を町民多数の方々にご覧いただきましますよう、お知らせいたします。

第2回 健康マラソン



○と き 2月23日(日)午前9時

○ところ 門川中学校スタート・ゴール

○種 目

2 km…小学5・6年男子及び
女子、中学女子、一般
女子、30歳以上女子、45歳以
上女子

3 km…中学男子、30歳以上男子、45才以上男子

5 km...一般男子

※一般の部は、男女とも高校男女を含む。

○申 込 2月14日(金)

門川町教育委員会あて
詳細は1月にチラシを回覧します。

ゆつたり いきいき ジョギング

須賀早紀	坂田裕美	境田裕子	川瀬美樹	甲斐祥宏	南ヶ丘	川野亮尚	三樹亮介	古田春揮	中武大祐	寺原正博	佐野誠	工藤由加里	南町二区	石田恵子	若本良仁
照夫	富士夫	勲	辰美	淳二		清	英二	稻吉	宗吉	芳照	忠男	和雄		謙一	三良

松	福	中	佐	金	河	宮ヶ原	稲	山	初	萩	原	野	中	寺	染
下	田	田	藤	丸	野		田	下	田	原	田	口	戸	原	矢
圭	智	辰	大	健	慎		友	裕	菜穂子			知	理	理	麻
一	恵	則	地	一	一		美	三	岳	剛	布	恵	絵	美	
秀男	賢一	幸雄	正一	隆	純男		英二	久雄	譽	義仁	照二	正史	文子	正志	正人



		松	森	片
		下		平
		誠	賢	
		京	太郎	
		淨勝	昭男	
計	女	男		
三〇七名	一四八名	一五九名		

歲時記

寒稽古

寒中の厳しい寒さの朝、少年剣士たちが、竹刀を持って道場に急ぐりりしい姿は、冬の風物詩の一つです。最近、武道の復活でこうした姿をよく見かけるようになりました。もっとも、朝の街かどでそれより目立つのは、ジョギン

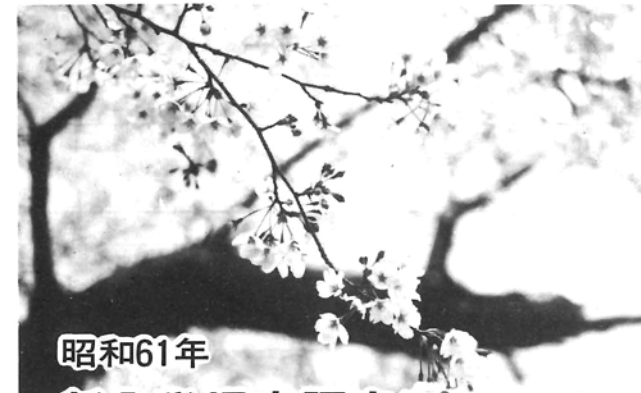
グ姿。寒ジヨギングと言う言葉はありませんが、やはり、寒いからといって怠けてはならないとばかり、寒中は、より一生けんめい走る気になるようです。

寒稽古という点、最近は剣道とか柔道のことと、思っている人が多いようですが、武芸に限らず、芸事、たとえば義太夫、長唄、清元、常磐津なども、寒中の朝に練習します。特に三味線は、寒弾と言つて、寒中に弾くといふ音色がでるといいます。それにしても、寒のころはちょうど入学試験の追いこみの時期。予備校でも寒稽古(?)。早朝特別講習の真つ盛りようです。

ところで、稽古と言えば、冬の季節の一つに消防の出初式があります。新年に当たり、消防関係者が、初めて出そろうって集団動作の訓練をするわけです。

出初式は各自自治体ごとに行われ、日時についての決まりはありませんが、大体一月六日が中心です。

特に有名なものは、東京の出初式で、江戸の町火消しの伝統を受け継ぐ^{ついで}鳶職のはしご乗りなどが披露され、テレビなどで全国に紹介されています。



昭和61年
新入学児童調査について

一該當兒童

昭和54年4月2日から

昭和55年4月1日までに生れた者

昭和六十一年度新入学児童を十月一日現在の住民基本台帳により調査し、学齢簿を作成いたしております。調査もれや、十月一日以降の転入転出、又は転居等による住所の変更及び氏名等の誤りのある場合は早目に教育委員会へご連絡下さい。

松瀬	(兒童氏名)	(保護者氏名)
松本	知博	哲也
三ヶ瀬		
小谷	勝利	政男
志田	奈美子	重利
榎本	智恵	千代子

上井野 小野 神井 神井 谷口 松川 大内原
昌弘 せい子 康男 のぞみ 香織

康彦 春芳 義雄 惣一 幹男

那須弘幸	長友秀行	年森智弘	谷本幸子	丹田育実	佐藤貴志	甲斐しのぶ	甲斐潤一	金丸めぐみ	五十鈴ひとみ	水永智之	岩佐直人	竹横田祐次	横松いくみ	奈須直之	黒木謙二	甲斐美由紀	金丸珠直	請山一喜	中山拓也	米良智美	黒木智美	城屋敷瑠美	佐藤瑠豆	太田靖子	和泉政隆	小園五男	小江川拓司	岩井康博	蓮本真悟	中山茂幸
------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	--------	------	------	-------	-------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------

久保善伸	河野	河野	太田	東京 米良	吉田	米良	甲斐	岡林	岩切	岩佐	本 米澤	山澤	米下	南良	姫野	園田	児玉	黒木	黒木	黒木	金丸	上ノ 吉田	富高	黒木	金丸	岩田	南 横山	吉村	山本	安田	牧野	開	
善伸	真美	肇子	いづみ	悦子	ゆかり	伸朗	孝幸	紘子	知香	国利	竜一	慎也	こずえ	里美	潤二	幸恵	紹代	美徳	真吾	広美		耕彦	沙織	賛典	美和	葉子		まゆみ	雅之	康崇	純子	文幸	玲子
広良	シトミ	考治	道康	たず子	芳満	弘	剛	米美	千速	陽一	儀吉	勲	義美	俊孝	哲夫	猛治	幹雄	守	誠二	隆志		勝彦	敏廣	高廣	俊明	寅雄		守	満義	絹子	巡	金四郎	常久

旭 桑	村堀平廣黒小安	矢姫樋富柴黒菊上岩	有和吉松松正本藤日中寺高鈴塩真黒
口村	田田島木野藤	野野口水田木池村佐	働田田本田岡田美沙友洋友満政盛紀英大
由典	あさみ江紀一忍子力	和愛公章岳光一育	美茂節拓丈美沙織子平美美裕将子治地
佳之		紀子章如人人美男剛	香美男也士沙織子平美美裕将子治地
久博	親亘力秋泰恵清	郁五一公保守秀健修誠	博哲勝良一清好智修勇正敏武敏憲賢
一典	男男子人三一	男一男二作一	郎士一彦高美賀子一郎

ゲートボール場二面
児童遊戯施設

海浜総合
公園内に

総べての町民が気軽に利用できる福祉と健康増進を目的とした「ふれあい」と「やすらぎ」を創出するため、町の中心的な交歓の場として計画されている海浜総合公園は、昭和五十五年度から五十七年度にかけて埋立造成を完成させ、五十八年度より施設づくりを実施して参り、この度すこやか広場にゲートボール場二面と児童遊戯施設が完成しましたので広く町民の皆様にご利用いただきたい。

児童遊戯施設内容としては、大型チアアゴーランド一基、キリンズスベリ台一基、ボニー（スプリングブレイ）三基、ザイルクライミング一基、シュルター二基、外五種類の遊戯施設を完備してあります。

このように年次的に施設が完成しておりますが、ゲートボール場の場合余り活用されていないようです。これも町民の皆さんに余り知られていないためではないかと思われまますので今後各地区での親善試合等には絶好の場所でありまますので大いに活用していただきます。



完成される

いと存じます。

一方児童遊戯施設の利用については附近の児童等が活用しておりますが、幼児から低学年のおられるご家庭では、日曜日等一緒に楽しい一時を過ごされたいとうでしようか。

また利用されるのは大いに利用していただき、自分たちの公園ですから自分たちの手でいつもきれいにいたしましょう。

尚、ゲートボール場を利用される場合は、門川町役場教育委員会に前もってご連絡して下さい。

戦没者の遺族・戦傷病者・旧軍人等の皆さんへ

恩給・扶助料・年金・特別弔慰金等についての

移動相談のお知らせ

◎戦没者遺族の皆さん

軍人、軍属、準軍属(動員学徒・徴用工等)としての勤務に関連して死亡された方の遺族には、公務扶助料、遺族年金、遺族給与金、弔慰金等の支給制度があります。

◎戦傷病者の皆さん

軍人、軍属、準軍属としての勤務に關連して、受傷、り病し、その障害が残っている方には、傷病恩給、障害年金の支給及び国鉄乗車券引換証、補装具の交付や療養給付の制度があります。

二、昭和48年4月2日～昭和54年

昭和48年4月2日、昭和54年4月1日の間に戦傷病者の妻になった方（昭和59年5月15日で、国債の最終償還を終えた方）で、昭和59年10月1日において夫である戦傷病者が戦傷病者の妻に對する特別給付金が継続支給されます。

◎旧軍人等の皆さん

三、戦没者の妻で前回の特別給付金の受給権を取得した後10年を経過した方には、継続支給が行われます。

四、昭和六十年四月

一日において、その戦没者にかかる遺族年金等を受けている遺族のいない場合に、特別弔慰金が支給されます。

◎移動相談日

二月四日（火曜日）
延岡市社会教育センター

二月十三日（木曜日）
日向市中央公民館



上納屋二区	松下	山下一	尾末東	後向	奥野	中尾	宇都宮	黒木	児玉	新庄	田端	椿原	椿原	中田	奈須	奈須	松本	伊藤	岩井	小野	黒田	立花	日高	藤本	松田	松田	米田	矢野	上納屋一区	岩田	小田	小林	松下
	真実	和行		沙織	泰彦	克也	三良	しのぶ	美樹	純也	真美	堅太	美穂	賢一	通明	史子	由佳里	さゆり	隼人	弘昭	亜紀子	祐子	雅光	真由美	昌三	典子	陽子	好恵		康孝	麻奈美	一洋	真実
	辰男	浩一		徳次	義彦	留男	日出勝	幸一郎	弘	経二	豊士	博	常男	俊郎	通丸	俊道	盛夫	三郎	政敏	照男	勝志	栄三	利光	忠男	知治	義一	節男	重徳		文男	豊一	一好	辰男

武田	谷口	染田	園田	関本	興梠	黒木	請野	海野	加草三区	日吉	和田	山田	松葉	牧野	日吉	日吉	谷村	瀬尾	黒木	金丸	加草二区	山口	藤本	津島	佐藤	加草一区	津島	高橋	高橋	金丸	川崎	川崎	川崎	中村	吉田	阿波野
祥一郎	愛美	亜由美	梨恵	麻子	はるか	美里	睦男	洋親	志明	祥吾	麻由美	しのぶ	麻由	将幸	伸寿	ちひろ	直子	寛美	輝義	昭人	真弓	由美子	美和	広貴	祝雄	真一	紘二	貴博	邦広	慎也					道希	雄雄
健清	良作	光宣	長治	文男	正彦	幹夫	洋一郎		鐵夫	厚夫	太志	玲子	勝廣	峰夫	孝壽	裕二	和彦	信二	孝二	重春	典男	由伸	秀夫	武男	竹伸	三千男	昭一	正義	廣年	義広				公彦	正男	

園田正樹	園田通夫	黒木洋明	黒木隆生	桂木敦子	桎野奈津子	岩田真理子	庵川東	岩田大誠	和田行生	安田勇亮	安田真紀	安田賢太郎	山田知恵子	山田本恵	山田雅彦	安田裕志	山田本藍	黒木勇介	黒木美允	北嶋誉志	桂木優樹	金丸麻美	岩田紘幸	川野洋平	峯本優里子	藤田美沙樹	寺田百合	鈴木慎悟	下田宏樹	金丸宏美	萱野	加草四区	請閑恵美子	山田里江	山口元美
修二	健	吉夫	利昭	浅一	勲	功		誠	作利	直樹	秀作	和幸	當	幸幸	光彦	正寛	達雄	實守	久夫	清春	順一	福義		栄二	隆二	博志	栄士	尚	和士	竹晴	映二		實	洋	寛芝

原田	奈須	永友	中城	寺原	田原	杉尾	神戸	黒木	久米	黒木	黒木	黒木	河野	平城東	榎野	谷の山	朝倉	山田	牧野	永田	富田	戸高	黒木	岩田	牧山	岩切	米澤	横井	横井	横井	右松	牧田	高月	高月	曾根田
佳奈子	香織	志穂	澄幸	美智子	祥子	亜希子	冬樹	隼人	奈美	貞利	秀次	香誉	隆苗	朱子	隆裕	美紀	隼人	美穂	誠則	恵美子	光				誠彦	いずみ	裕之	千絵	啓太	絹代	裕助	一樹	加寿馬	千里	
修年	時雄	格郎	良一	久規	廣顯	謙一	光一	寛一	隆一	忠雄	惣一	茂一	昇一	幸廣	學	信一	孝雄	健次	五男	英宣	正男	勝信	ニシコ	章造	一夫	正利	嘉次郎	啓一	イワエ	徳由	晴夫	薫	義廣		

山本宏美	宮本浩司	林田理香	中村友美	志田幸一	椎葉修一	坂口洋和	佐藤直人	黒木隆史	黒田武志	桐木隆行	甲斐ひろみ	柏田知志	金丸恵	片岡充昭	河野真由美	金丸哲郎	江藤登美宣	平城西塚景子	吉野知美	河田真佳	柳田由信	山田重紀	山田美紀	森田杏子	米良千穂	米田有沙	村田知代	松下小百合	松田俊明	前田由美	本田伸幸	藤崎絵美	平田沙也香	廣本拓也
敏篤	利明	幸八郎	昭一郎	政男	與一	多津子	宮吉	謙次	文大	安子	章二	幸市	均	豊治	隆弘	敏清	邦寛	秀男	真澄	年勝	力夫	松逸雄	勝義	幹男	幸一	孝幸	清隆	邦照	隆三	勝彦	富男	芳幸	千代美	

毎年検診を続け**早期に発見**された**ガン**は、

子宮ガン

治療すれば確実に治ります

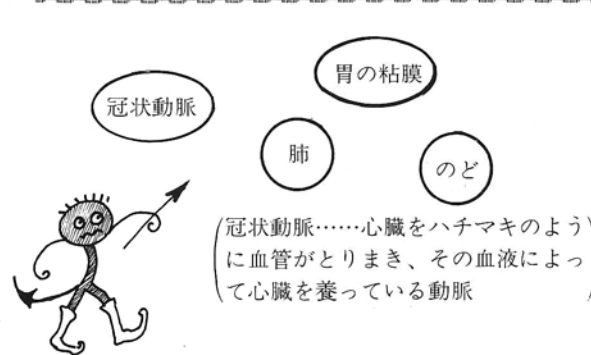
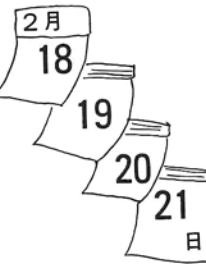
子宮頸ガンの発見のためには、膣部と頸部の擦過標本を検査して、その中にガン細胞があるか、ないかを見わけます。ガンが進むと出血や色のついたおりものなどの症状が出てきます。

—子宮ガン早期発見のために
年1回は検診を受けましょう—

心配するよりまず検診



検診予定日



冠状動脈……心臓をハチマキのように血管がとりまき、その血液によって心臓を養っている動脈

ニコチンによって収縮した血管が、もとに戻るには、一定の時間がかかり、酒を飲んだ場合、ニコチンの作用はさらに延長されます。

お正月…
酒・タバコは
ひかえめに

お正月健康4ヶ条

1. イワシに含まれている不飽和脂肪酸は、虚血性心疾患を予防する。
2. ニコチンを解毒するビタミンC
3. レバー、肉、魚類のビタミンB12はタバコの青酸ガス作用を抑える。
4. ニンジンに含まれるカロチンは、ヘビースモーカーの救世主



内需

国内需要のこと。総需要は、個人消費支出などの内需と、輸出等の外需からなっています。戦後、日本の輸出努力や内外の経済環境にうまく適応した結果、外需の依存率がしだいに高まり、対外貿易摩擦問題に発展しています。そこで、内需中心の経済運営を図り、対外不均衡を是正しようというのが内需拡大策です。政府は、六十年十月十五日に経済対策閣僚会議を開催し、事業規模約三兆円の「内需拡大に関する対策」を決めました。これは、民間活力を最大限に活用した内需拡大を通じて、経済の拡大均衡をめざすもので、当面の対策として①住宅金融公庫の融資枠拡大、宅地開発の円滑化など住宅投資・都市開発の促進②電気・ガス事業の設備投資追加、日本開発銀行の貸付枠拡大など民間設備投資の促進③下水道事業など地方単独事業の推進も含めた公共事業の拡大——などを盛り込んでいます。また、今後の対策として、規制緩和、週休二日制の拡大、国公有地の有効活用などが挙げられています。

(昭和六十一年度) 保育所入所児童申込受付

1月13日より

昭和六十一年四月から保育所に入所希望の方は、左記により申請書を提出されるようお知らせします。保育所は、保護者が働いている場合、または疾病等の理由により、その家庭において十分な保育を受けられない児童を保育する児童福祉施設です。

(一)対象児童
満一才児より就学前の児童

(二)募集保育所

(三)保育所入所申込に必要な書類
①保育所入所申請書
②母親等家族の就労状況証明書
③昭和六十一年分給与所得の源泉徴収票、あるいは貸金支払証明書
④昭和六十年度町民税課税額証明書、固定資産税額証明書
⑤申請書配布期間及配布場所

(四)配布期間
昭和六十一年一月十三日～二十八日

(五)配布場所
役場住民課厚生係及

施設名	設置者	定員	通園区域
五十鈴保育所	町立	90名	本町一部、上町、五十鈴、城屋敷、小園、小松
中央保育所	町立	90名	本町一部、栄町、中村、宮ヶ原、竹名、加草一区、二区
門川保育所	町立	90名	上納屋全区、旭町、下納屋、中尾、尾末東、中須、後向
平城保育所	町立	120名	栄ヶ丘、中山、平城西、東
草川保育園	法人	90名	庵川全区、加草三、四、五区
南町保育園	法人	60名	南町全区

110番のしくみを御存知ですか？

◆ 110番のしくみ
みなさんがおかけになる110番は、一部の町(高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町)を除き、すべて宮崎市にある県警察本部通信指令室にはいります。

通信指令室では、事件・事故の内容をおたずねしますが、その一方では無線でパトカーや交番の警察官に対し、現場に急行するよう指示しています。

あなたが話をしている間、すでに警察官は現場に向っておりますので、安心して担当係の質問にお答えください。

◆ 110番では、次のようなことをおたずねします。

- 何がありましたか(けんか、交通事故)
- いつですか(時間)
- 場所は
- 目標になるものは(目立つ建物、商店を目標に)
- けが人は、救急車がいりますか。
- 犯人の数、特徴はわかりますか。
- 車は、逃げた方向(ナンバー・色・型)は
- 被害の程度は
- あなたの住所と名前は
- かけている電話の番号は などです。

◆みなさんへお願い！
子供の「いたずら110番」がかなりかかってきます。また「104番」をかけたつもりが誤って「110番」にかかります。ダイヤルは正しくまわしましょう。



各保育所
(五)申請書受付期間及受付場所
①受付面接期間
昭和六十一年二月四日～六日
役場三階会議室
午前9時30分～午後4時まで
(六)問い合わせ先
保育所入所手続きについて、わからない点がありましたら、役場住民課 電話六三一―一四〇内線十五へ

サルビア俳句会
(十一月例会)

天守閣遠くに肥後路稲熟る 後藤ワイ
仏舎利塔はるかに秋天澄む広さ 松葉マサエ
祭面はずせば意外顔見知 佐藤秋子
朝戸出に山茶花一輪かくれ咲き 児玉世津
空っぽのローカル線行く枯野かな 甲斐芳枝
溝蕎麦や亀も泥鰌も眠りたる 佐藤定光
柚子は黄に平家八百年の村(椎葉) 河野白陽子

スコップの田の面にさされ水濁る 太田宇朗
六地藏夕日いっぱい雁わたる 清田柳水
贈られし句集ひととき初炬燵 松本貞夫
一言の温みに触れぬ小六本 谷川童夢
小春日の野にかがやきて牛の胴 後藤玉喜
火葬場へ一つ越す山初もみぢ 松本きよし
柚子の香や納屋に遣れる母の機 星本花泉
落鮎の重なり合ふて月の實に 牧野吐龍

門川中男子女子ソフトボールチーム 西日本中学生選手権大会のお礼

新年あけまして
おめでとう

おめでとうございます

さ、昨年中は町民の皆様方には
多大なご寄附ご声援をいただきあ
りがとうございました。また前回
の西日本中学選手権大会におきま
しては、皆さまの期待にこたえら
べく選手も一生懸命に頑張りました
が、男子チームがベスト8、女子
チームは初戦で善戦の末惜退いた
しました。

今年も門川中ソフトボールチ
ームはより一層皆さまのご期待にそ
えるよう頑張りたいと思いますの
で、よろしくお願い申し上げます。
門川中ソフトボール後援会一同

この度、茶道裏千家、中島宗美
様より、社会福祉事業にと、金壹
万円をいただきました。
ここに厚くお礼申し上げますと
共に、有効に活用させていただきます。

寄附お礼

謹賀新年
ことしも町報をよろしく



ごめい福を祈る

氏名	年令
作健和郎ノ學雄ヨ八夫子松	75
名恵 俊 一シゲ 岩モ喜亀初伊勢	36
永本 井川佐田木本藤友田木	57
水松堤酒小岩宮黒松佐長濱黒	54
名原東町区山鈴東原瀬町西町西	71
区々城栄1 十城内 城栄川	83
地宮平東加牧五平大松本平西庵	59
	78
	78
	62
	58
	54
	84



寄附お礼

香典返しのかわりに、社会福祉
事業にとご寄附を頂きました。
ここに厚くお礼申し上げますと
共に、故人のご冥福をお祈り申し
上げます。

尚、使途につきましては、その
主旨にそいまして、社会福祉事業
に活用させていただきます。

(一)は故人

拾万円 東栄町 堤 佳子殿

五万円 平城東 宮田治子殿

五万円 西栄町 浜田梅春殿

五万円 大内原 黒木カヤ殿

五万円 庵川西 黒木チヅ子殿

五万円 本町 佐藤キミエ殿

五万円 五十鈴 岩佐春美殿

五万円 平城西 長友カズエ殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

五万円 大内原 松葉武蔵殿

締切日(十二月二日迄分)

門川町社会福祉協議会

さわやか
西村 宗 君

